

令和元年度 滝頭地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
地域の現状として、起伏の多い地域であり地域ケアプラザに気軽に通うのも高齢者にとっては難しいところがあります。また、地域包括ケアシステムの構築については初期段階にあります。 今後の方向性として、従来どおり積極的に地域に出向き、顔の見える関係作りを引き続き行います。また学校関係者等との連携を深め、生徒や保護者にも地域ケアプラザの周知を図ったり、広報誌や事業のチラシの配布場所を拡充します。地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域関係者や区役所・区社協・介護保険事業所などとの繋がりを強め推進を図ります。		
あり		
— 具体的な取組内容 —		
新規	継続	<input type="checkbox"/> ■ 圏域の小学校では認知症サポーター養成講座を、中学校では高齢者疑似体験教室を行い、子どもと保護者及び学校関係者にケアプラザの機能を周知する。また地域の放課後デイサービスにケアプラザの案内やチラシの配布を拡充する。
■	□	高齢者サロン等を活用して、地域の方に情報提供を行う。 被害が起こった際、ケアマネジャーと迅速な情報提供を行う為のツールとして『消費者被害かわら版』を作成する。 日頃の関わりの中で、ケアマネジャーや民生委員等と消費者被害の情報交換を行う。
□	■	介護予防教室を各自治会・町内会の老人会などを対象に、より身近な場所で介護予防事業を開催する。
□	■	民生委員を中心とした高齢者のサロンや対話集会などの場で、介護保険やケアマネジャーの役割を伝えていく。 地域ケア会議等において、地域の福祉関係者とケアマネジャーとの関係を築く。
■	□	身近な地域での「場」の開催について、区役所・区社協と情報共有と連携を図り、地域の空き家利用・住み開き例などを紹介していく。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		